

エホバの証人— 日本での歴史や活動





エホバの証人とは？

エホバの証人は世界的によく知られた宗教です

現在、240の国や地域に900万人を超えるエホバの証人がいます。

エホバの証人は政府の権威に敬意を払います

法律を守り、税をきちんと納めます。出版物や伝道活動により、法律を守るよう全ての人に勧めています。

“ 全ての人には上位の権威に従わなければなりません。”

— ローマ 13:1

日本のエホバの証人の歴史

1913年：米国で日本人がエホバの証人になり、その後日本に帰国する。

1927年：最初の支部事務所が神戸に設立される。

1949年：最初の宣教者たちが日本に到着する。

1949年：支部事務所が東京都港区三田に移転する。

1953年：ものみの塔聖書冊子協会が日本で宗教法人として登録される。

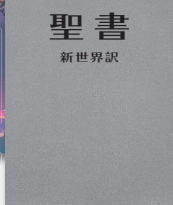
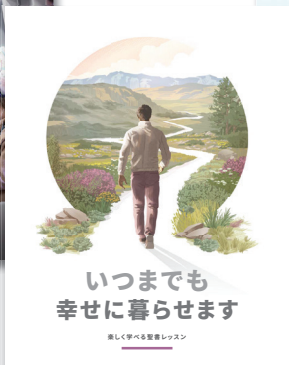
1972年：支部事務所が静岡県沼津市に移転する。

1982年：支部事務所が神奈川県海老名市に移転する。

1982年：「新世界訳聖書」の日本語版が発表される。

2000年：最高裁判所が強制的な輸血は患者の権利の侵害であるとの判決を下す。

2024年：約21万4,000人のエホバの証人が日本で活動している。



エホバの証人の信条と活動

エホバの証人の信条

エホバの証人は、聖書をエホバ神（聖書の神の名前）が人間に書かせた本と見なしており、今の暮らしに役立つ信頼できるアドバイスであると考えています。多くのエホバの証人は聖書のアドバイスを自分の生活に当てはめることにより、自分の性格や心身の健康、子育てや家族生活、対人関係が向上したことを実感しています。

自分の信条を伝える

エホバの証人は聖書に基づく教育活動と、他の人に聖書のポジティブなメッセージを伝えることで知られています。エホバの証人は個々の人が持っている信条や意見を尊重します。一人一人に自分が信じるものを選ぶ権利があることを認めつつ、聖書の言葉を穏やかに伝えます。

他の親たちと同じように、エホバの証人の親も子どもたちの最善を願っています。子どもたちに自分が信じていることを伝え、しっかりとしたモラルに従って生活するよう教える責任を真剣に受け止めています。国際的にも認められているとおり、親には自分の信念に従って自分の子どもを教える権利があります。しかし子どもたちは大きくなったなら、自分がエホバの証人になるかどうかを自分で決めなければなりません。



エホバの証人ではない人のコメント

「無血手術を受けたエホバの証人へのインタビューを行ない、彼らの強い信仰と命を尊ぶ気持ちの強さを知った。彼らは輸血を伴わない医療を選択しているだけで、早く元気になりたいという気持ちが強く、ひじょうに前向きであり、それが順調な回復過程に反映されていたと思われる。…無血手術は、血に関する確固たる立場を取るエホバの証人の宗教的情熱と貢献により進歩した。」

— 天野 篤, 医学博士
順天堂大学
メディカ出版「ハートナーシング」, 第9巻, 第9号, 1996年



国際規約による保護

市民的及び政治的権利に関する国際規約第18条第4項は、子どもに自分の信条を教える親の権利を保護しています。

「この規約の締約国は父母及び場合により法定保護者が、自己の信念に従って児童の宗教的及び道徳的教育を確保する自由を有することを尊重することを約束する。」



左上と左下: 2017年の熊本地震の後、エホバの証人のボランティアたちが被害を受けた家屋を修繕している 右上: 海老名市の印刷施設で行なわれている聖書の生産。280以上の言語の聖書や聖書に基づく出版物が生産されている 右下: 崇拜のための建物の建設

ご存じでしたか？

災害救援活動

エホバの証人は災害への備えをととても重視しています。災害発生時にはいつでもすぐに行動し、被災者への実際的な支援と、感情面や精神面での継続的なサポートを行えるようにしています。2011年の東日本大震災の時、エホバの証人はその日のうちに食料や水、燃料を被災者に届けました。一両日中に、3つの災害救援委員会が組織されました。日本中のエホバの証人が協力して、被災者たちに一時的な宿泊場所を提供しました。証人たちのボランティアは970棟の被災した家屋を修繕し、家具や電化製品、その他の生活必需品を供給しました。

自発的な寄付による運営

すべてのエホバの証人の活動はボランティアによって行われ、自発的に寄付された資金によって支えられています。寄付集めなどはありません。証人たちは何十億冊もの聖書や聖書に基づく出版物を無料で配布してきました。エホバの証人の公式ウェブサイト jw.org[®] では、記事やビデオやオーディオ・コンテンツが1000以上の言語で提供されています。その中には100の手話言語と約50言語の点字版も含まれています。

さらに詳しく知るには

エホバの証人の公式ウェブサイト jw.org[®] をどうぞご覧ください。

連絡先メールアドレス: pid.jp@jw.org



こちらのコードもご利用ください。
エホバの証人に関する情報をさらに入手できます。